

## 平成31年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画

### 1 基本方針

当社は、平成31年度も引き続き水族に関する知識の普及及び啓発並びに水族館の効率的な管理運営に努め、市民等の健全な余暇の活用や観光振興に資する施設として利用されるよう取り組んでまいります。

水族展示については、姉妹館盟約の締結から5周年を迎える山形県鶴岡市の加茂水族館と連携して、特別企画展を開催するほか、入れ替えを計画しているジンベエザメの継続的な展示に加え、絶滅の恐れのある野生のジンベエザメを減らすことなく展示する方法の確立、放流時には自然界でのジンベエザメの生態を解明調査にも取り組みます。また、黒潮大水槽で年間を通して産卵しているスマの受精卵をいかし、新たな展示方法等の構築を目指すほか、深海生物展示においては、加圧して輸送や治療ができる圧力容器を活用して、深海生物の展示を充実させます。

イルカ・アザラシについては、館内やイルカ水路での安定的な展示を目指すため、他館や大学等研究機関と連携しながら、これまで以上に自然繁殖等を推し進めてまいります。

次に、学習交流活動につきましては、「いおっ子海っ子体験塾」など現在実施しているさまざまな学習プログラムの更なる充実や発足後20年が経過した水族館ボランティアの新たな活用などを目指し様々な年齢層の方が楽しく学べる学習プログラム等を提供してまいります。

また、近年、関心が高まっている海洋環境問題について、水族館ならではの生きものを活かした展示で、海を守る行動の促進や他の施設や研究機関との連携を図り、広く環境キャンペーンを実施してまいります

来館者誘致に対する取組としては、新しい天皇陛下の即位に伴う、長期間のゴールデンウィークに向けて「夜の水族館」など、集客力のある、また来館者に楽しんでいただけるイベント等に取り組むほか、来館者に優しい施設づくりとして、外国人観光客の受け入れ体制の充実を図るため、館内の各展示コーナーにQRコードを用いた多言語の案内動画を格納したガイドマップを作成や、タブレットなどを用いた翻訳サービスを導入し、サービスの向上を図ります。

このほか、施設の良い維持管理のため、引き続き日々の保守点検を確実にを行うとともに、施設の長寿命化を図るため、鹿児島市と連携してストックマネジメントに取り組めます。

## 2 事業内容

### (1) 公益目的事業

#### 1) 自主事業（公1）

体験型スクールや広報誌の発行及び水族の保護・保存のための調査研究を通して、広く水族の知識の普及及び啓発を図る事業

- ① 水族館スクールの開催
- ② ニュースレター「さくらじまの海」の発行
- ③ 水族館ボランティアの充実
- ④ 錦江湾鯨類調査
- ⑤ ジンベエザメ回遊経路追跡調査
- ⑥ サツマハオリムシなど錦江湾の深海生物に関する調査等

#### 2) 受託事業（公2）

鹿児島市から管理受託するかごしま水族館の管理運営を行い、もって水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与することを目的とする事業

##### ① 水族館の管理運営

- ア 展示及び運営の企画実施
- イ 展示する水族の収集、飼育、保管に関する調査
- ウ 体験型学習事業の実施
- エ 水族館の敷地、建築物及び付属設備等の維持管理
- オ 入館料の徴収及び鹿児島市指定金融機関への払込み
- カ イルカ水路でのイルカの常設展示に向けた取組
- キ 他園館との交流連携を活かした取組
- ク 加茂水族館との姉妹館盟約5周年を記念した取組
- ケ 環境管理事業所としての取組の推進

##### ② 広報宣伝事業

- ア テレビ・ラジオスポットなどメディアを活用した広報
- イ 幼稚園・保育園訪問及び小中学校へのイベント広報
- ウ 観光客・教育旅行誘致のための県内外旅行代理店及び学校訪問
- エ 東アジアからの観光客誘致のための宣伝活動
- オ 電照広告看板等による広報
- カ 平川動物公園・知覧特攻平和会館等との連携
- キ ホテル・旅館や各種交通機関との提携
- ク ドルフィンポート等周辺施設との提携

### (2) 収益事業

公益目的事業の推進及び入館者の利便を図るため、売店や自動販売機等を設置し、運営する事業

- ① アミューズメントショップの運営
- ② 自動販売機の運営や特割チケットの販売等